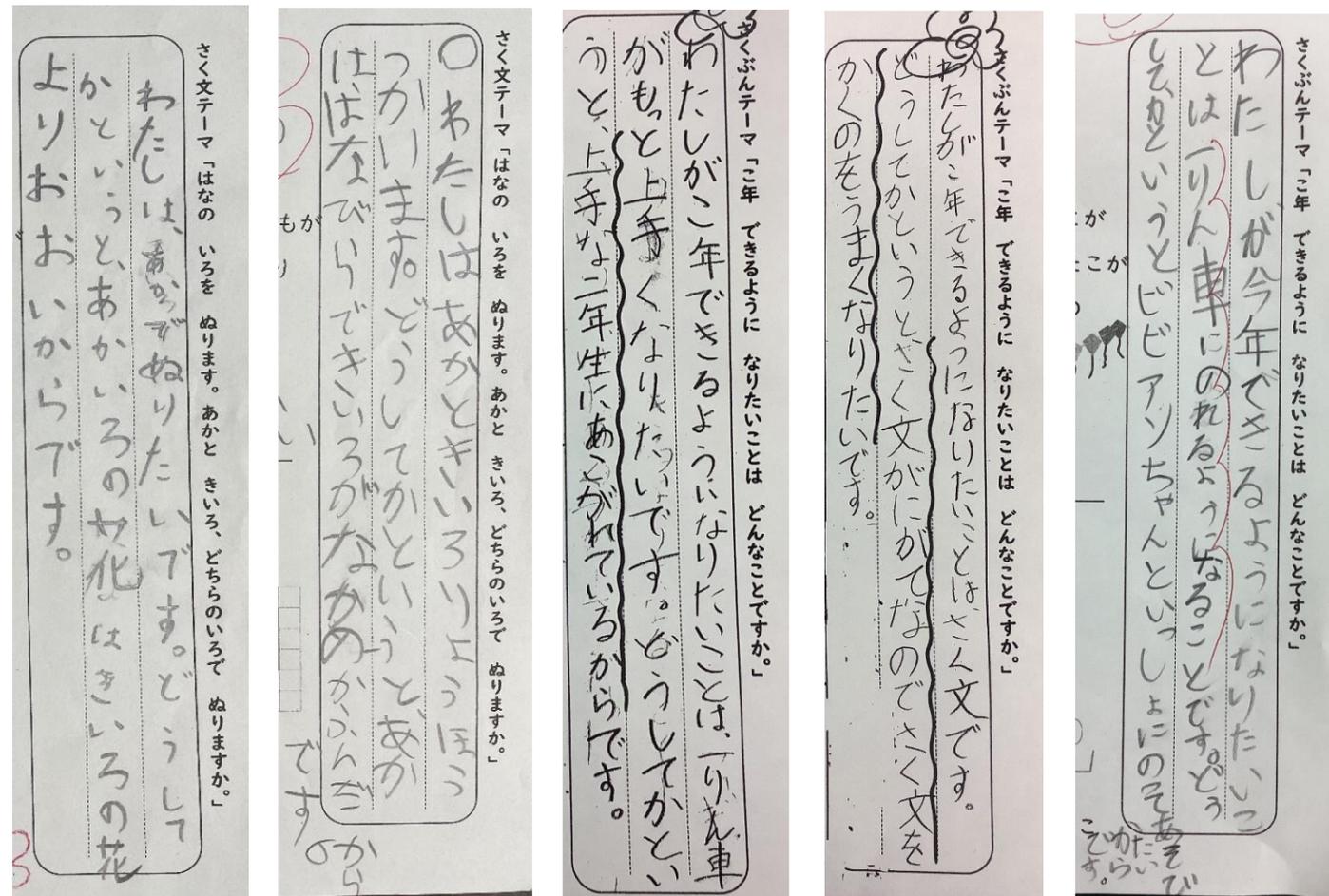


1年「どっちが好き」作文

家庭学習で、「〇〇〇と〇〇〇、どちらが好きですか。」という作文に取り組んでいる。必ず「どうしてか」というとを使って理由を説明させることで、児童の思考力や表現力の向上を図っている。



家庭学習で、継続して作文に取り組むことで、書く力や表現力が高まってきている。また、「どうしてか」というと」の他に、「そのために」など、学習した言葉を使って文を書くことで、さらに表現力を伸ばしていく。

2年 カテゴリしりとり ～語彙の獲得・表現力

「〇〇〇の仲間」に当てはまる言葉を3分間で何個つなげられるか、ペアでしりとりを行う。〇〇〇は毎回違う種類のものにして3セット行い、新しい語彙の獲得と共に、時間制限がある中での言葉の瞬発力も向上させていく。

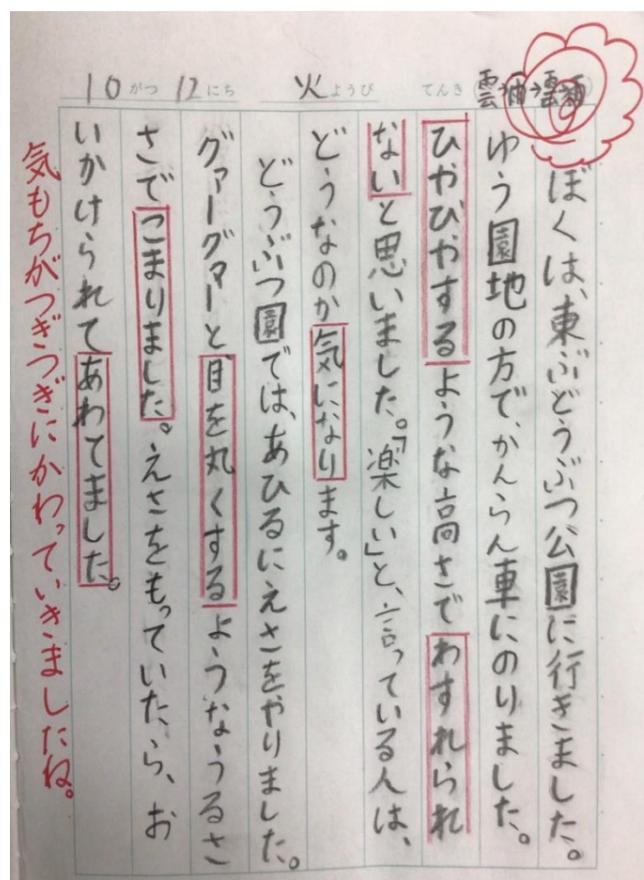
- ① 動物の仲間
- ② 食べ物の仲間



語彙を、〇〇〇の仲間というように仲間ごとに覚えることができた。つなげられそうにない時などは、友達や担任にどのような言葉があるのか聞くことで、新しい語彙を獲得できた。

2年 日記 ~考えや思いの表現を広げる~

教科書の「ことばのたからばこ」より、「考えや気もちをつたえることば」の中からその日の日記に使える言葉を選び、日記を書く。用いた言葉に印を付けて、意欲を高める。



ただ日記を書くだけでなく、「自分の気持ち」や「伝えたい考え」を意識して文章を書くことで自分の考えを伝える意識を高めた。

3年 辞書引きゲーム「コトバト」 ~語彙の獲得・表現力~

「○から始まる～な言葉」に当てはまる言葉を辞書から探し、なぜその言葉を選んだかという理由を書く。投票をして、クラスで1番共感を得られた言葉を書いた人がチャンピオンとなる。

コトバト

名前

○ はじから始まる

あたたかい言葉

にし

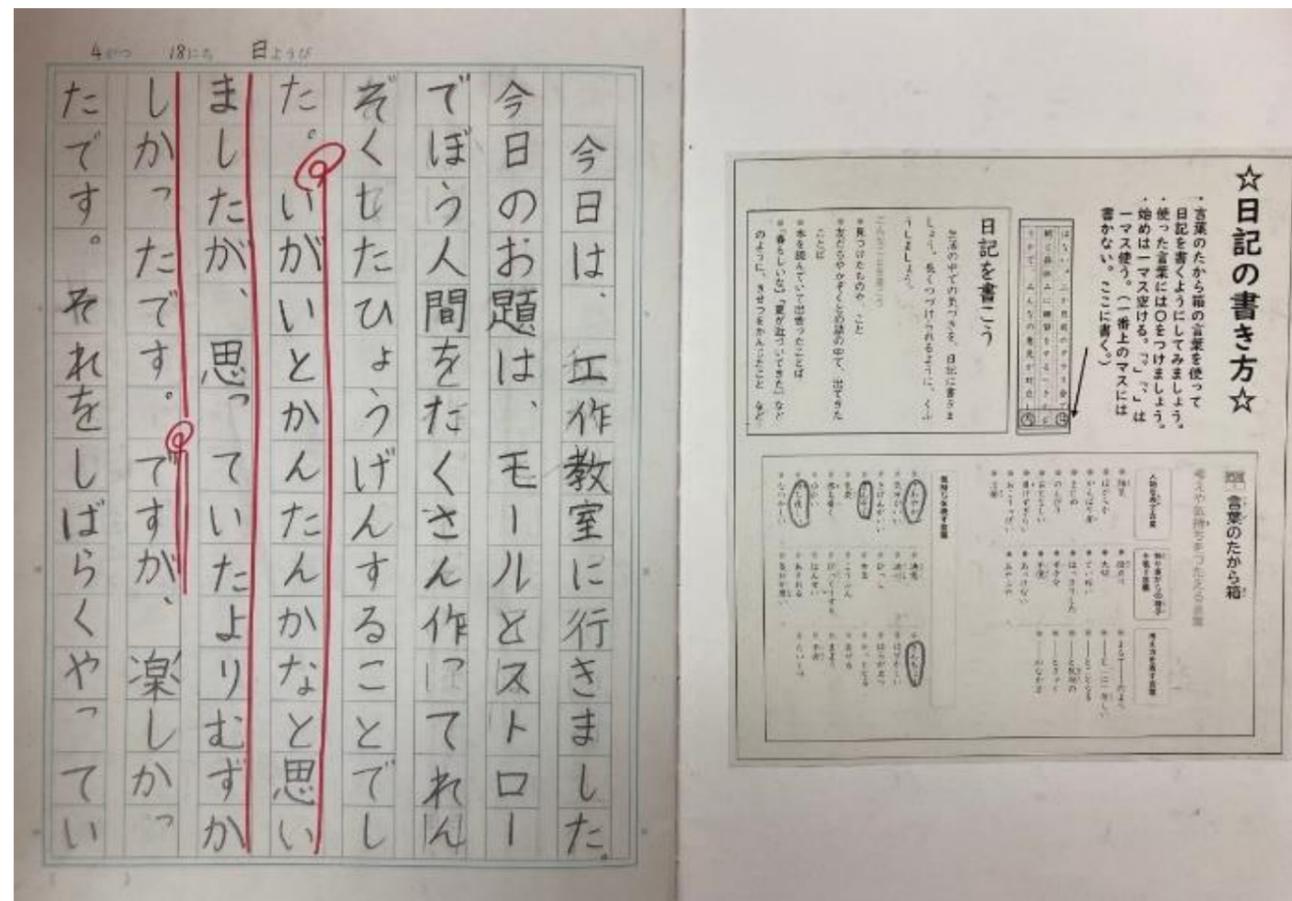
選んだ理由 にしは雨があがったときだけに見られるので、見る事ができただけでうれしい気持ちになったり、とくべつな気持ちになるから。

辞書に載っている言葉の意味を、しっかりと読み込むようになった。説得力をもたせるための理由を考える力が身に付いた。

3年 日記

～考えや思いの表現を広げる～

週末の家庭学習。教科書「言葉のたから箱」より、「考えや気持ちをつたえる言葉」の中から言葉を選び、その言葉を用いて日記を書く。用いた言葉に印を付けて、意欲を高める。



事実を書くだけでなく、「書き残したい考え」や「伝えたい思い」を意識して文章を書くことにつながった。

4年 意味調べ ～語彙を増やし、活用する～

教科書「言葉のたから箱」や読み物単元に出てくる言葉の意味を調べ、自分だけのオリジナル辞書を作る。語彙を増やし、自分の思いや考えにより近い言葉を使うことができるようにする。

②⑩	①⑨	⑧	①⑦	①⑥	番号
土星	圭月 木林	北海道	すすり	舌が回る	言葉
881	8	1170	640	536	ページ
太陽系の天体の一つ。八つのわく星の中で木星の次に大きい	本州のいちばん北の県。	日本の北のはしにある大きな島。	石やかわこなどでつくる	なめらかによくしぼる こと	言葉の意味や例文
			水を入れて、すみをすする道具		

①⑤	①④	①③	①②	①①	番号
未来	引き算	たまげる	外出	外交辞令	言葉
1229	1052	751	213	212	ページ
これからサキのい	ぶちかきで、右や左に引いてあげたりしめたりする	びくりする。ひじょうにおどろく。	外に出かけること	相手をよらうこぼせるための口先だけのほめことば。	言葉の意味や例文

言葉の意味を理解し、自分の思いや考えにより近い言葉を選んで伝えたり書いたりすることを意識できるようになった。

4年 辞書引きゲーム「コトバト」～語彙の獲得・表現力～

「○から始まる～な言葉」に当てはまる言葉を辞書から探し、なぜその言葉を選んだかという理由を書く。投票をして、クラスで1番共感を得られた言葉を書いた人がチャンピオンとなる。

「な」から始まる「美しい」言葉

仲間

誰でも仲間に入れてあげられる人の心の中が美しいから。

辞書に載っている言葉の意味を、しっかりと読み込むようになった。説得力をもたせるための理由を考える力が身に付いた。

5年 新聞の活用 ～要約・要旨・表現～

新聞の記事を選び、記事を要約し、記事に対する自分の考えを述べる活動。データで行うため、他者と共有することとした。新聞のコラム等も活用し、要旨をまとめることも行った。最初は、教師が記事を選択し、1ヵ月頃から自分で記事を選び、活動できるようになった。

新聞を読む
名前（板橋 悠真）

民間人だけで世界初の宇宙旅行
民間人だけを乗せた米宇宙企業スペースXの宇宙船クルードラゴンが、約3日間の地球周回旅行を終えて米南部フロリダ州に無事帰還した。民間人だけの宇宙旅行が成功したのは世界初。4人の民間人は、米支払いシステム企業創業者のアイザックマンさんが、自身を含む4席を購入し、公募などで選ばれた3人を招待した。



降下する際、笑顔で手を振る乗組員たち
18日（スペースX提供・AP）

○要約（100字以内）※打ち込んでください。
民間人だけを乗せた米宇宙企業スペースXの宇宙船クルードラゴンが、約3日間の地球周回旅行を終えて無事帰還した。民間人だけの宇宙旅行が成功したのは世界初で、4人の民間人は公募などで選ばれた。

○自分の考え（100字）※打ち込んでください。
宇宙旅行は宇宙飛行士がいなくてもできなと思っていたが、民間人のみで行うことができたというところがすごいと思った。宇宙旅行が身近に感じられて、この先もこのような宇宙旅行が行われることが楽しみだと思える。

既習事項を思い出し、要約や要旨を捉える際に、段落の要点やつなぎ言葉に着目する児童が増えた。自分の考えは、自分の経験や自分の読後感と併せて書くことができる児童が増えてきた。

5年 私のスピーチ ～表現力～

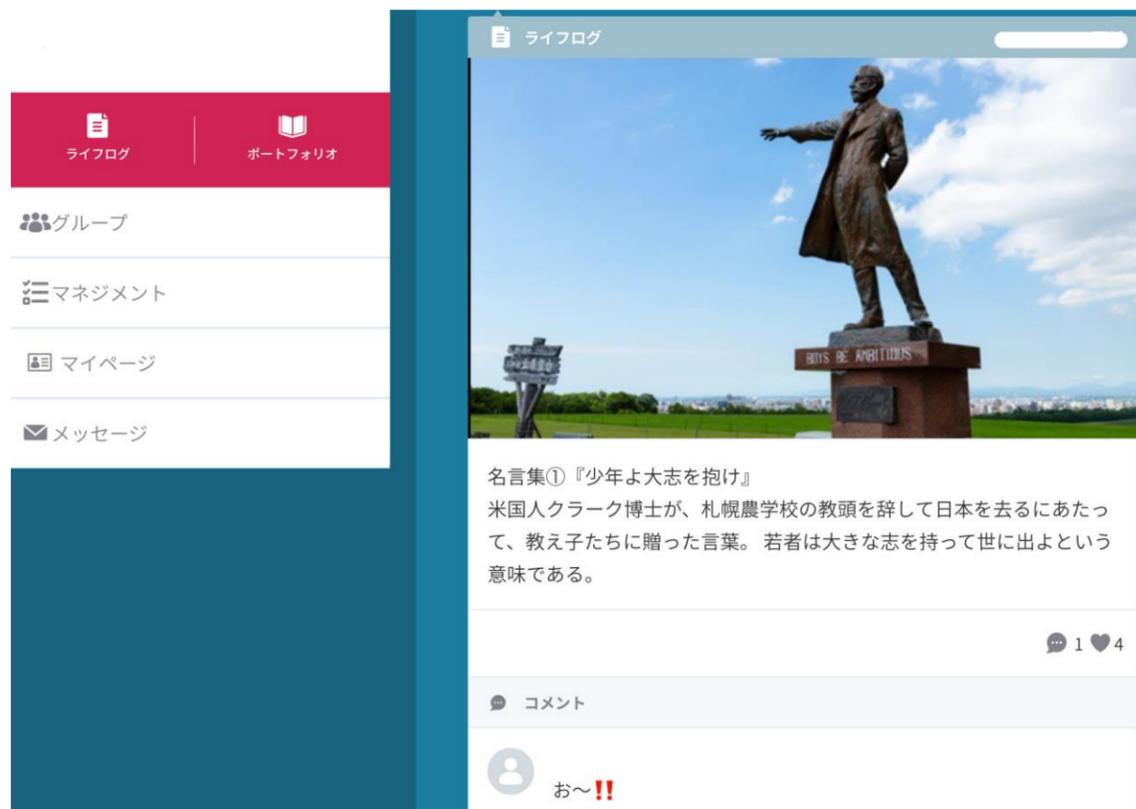
教師がテーマを設定したり児童自身がテーマを決めたり、スピーチを行う。スピーチ後に、質問や感想を数人から挙げるようにしている。



話の構成や伝えたいことを明確にする等、自分の伝えたいことを相手に伝えるための工夫をする児童が増えた。また、どんな質問が適切なのかを考える児童も現れるようになった。

5年 私の日記(Feel note) ~表現力・質問力・他者意識~

「Feel note」アプリを活用し、毎日の日記を投稿していく。教師や友達からフィードバックもできる。アプリの機能では記録を続けていくとAIがポートフォリオの観点から分析をすることができる。



日常的に表現活動をする児童が増えた。他者からの反応を考えながら表現する他者意識を強くなった。表現活動に対してコメントし合うことが日常化された。

6年 新聞記事意見文 ～要旨を捉える/考えをもつ～

毎週、いくつかの新聞記事（毎日子ども新聞）の中から児童が1つを選択し、要約し、要旨をとらえる。また、要旨をとらえることと、その記事に対する意見文も書き記す。書き直しができるようICTを用いる。

長い文章もどこを読むことで要旨（筆者の主張）をとらえることができるのかを考えながら読む姿が増えた。また説明的文章に対して他人事に感じてしまう児童も多かったが、考えをもつことを繰り返し行うことで、自分事として捉えることができるようになった。

記事

A

名前（萩野百香）

要約

東京パラリンピックのボッチャ個人で、杉村英孝選手が金メダルを取った。杉村選手は脳性麻痺があり、19才の時にボッチャに出会った。「ボッチャの魅力は自己選択と自己決定だ」と述べている。

意見

私は、脳性麻痺という「運動機能が麻痺することで後遺症として残る」障がいを持っているのに、金メダルを取れるのはすごいと思う。私は父とボッチャをしたことがある。ボッチャは、杉村選手が述べていたようにどれくらいの力で投げるといふことや、どこに投げるといふことは自分判断する。それを間違えると遠くに飛んでしまったり、逆に全然飛ばなかったりする。私は力が強すぎてほぼ遠くに飛んでしまったが、上手に白いボールの近くに飛ばして、前の金メダルの選手を倒せる杉村さんはすごい努力をしていると思う。この記事を読んで私は、日頃の生活でも色々なことにチャレンジをして、判断力や自己決定力を身につけていきたい。

6年 類義語・対義語リレー ～語彙の獲得～

対義語・類義語リレー

スタート おそらく

名前 栗原(瑛)

推し量って考えると。多分。
意味または例文

たぶん
大体のところ。ほとんど。
作品がおおかたでまあかった。

ほとんど
まったくとはいえないがそれに近い程度。
人々の心にはほとんど持っている。

ほぼ
およそ。だいたい。
アニメはほぼ見てつくした。

毎週1つの単語（お題）を出し、そこから自分が調べた類義語または対義語をリレーのようにつなげていく。お題は、事物を表す単語や児童がよく使う形容詞などからはじめ、最終的には、自分たちでお題を設定していく。

これまで児童は、物事を説明したり、考えを述べたりするときの表現方法が狭かった。しかし、似ている意味の言葉の知識が増え、知っていた言葉も対義語の関係にあることを再認識することによって表現のバリエーションが豊かになった。